



## 東道野辺五丁目地区地域排水整備が始まります！

東道野辺五丁目の市道37号線と市道38号線の交差点(東部学習センター付近)は、大雨が降ると、既設排水管が満水となり、交差点周辺ではたびたび道路冠水が発生し、車や歩行者が通行できない状況が生じていることから、これまで、市に改善を要望してきました。

令和5年度に、市道38号線の既設の排水管に加えて、新たに、もう1ルート of 雨水排水管が埋設され、排水能力を2倍にする道路冠水対策が実施されることになりました。

長さ約240m、直径60cmの雨水排水管が交差点部から市道38号線に沿って整備され、手通公園に流れ込んでいる既設排水管に接続されることで排水の強化が図られます。

今後のスケジュールは、工事に支障となる東京電力とNTTの地下ケーブルの移設を行い、令和6年3月末の整備完了予定とのことです。

この雨水排水管が整備されることで、大雨の際に交差点周辺で生じている道路冠水が大幅に軽減し、第二中学校、道野辺小学校の児童・生徒の通学時等における安全性の確保や道路冠水による交通渋滞及び車両の浸水被害の軽減など様々な改善が期待されます。



直径60cmの雨水排水管を新たに、もう1ルート埋設します。



東道野辺五丁目地区地域排水整備箇所

# 江戸川左岸流域の事業計画区域の検討が始まります！

## ●これまでの江戸川左岸流域の公共下水道

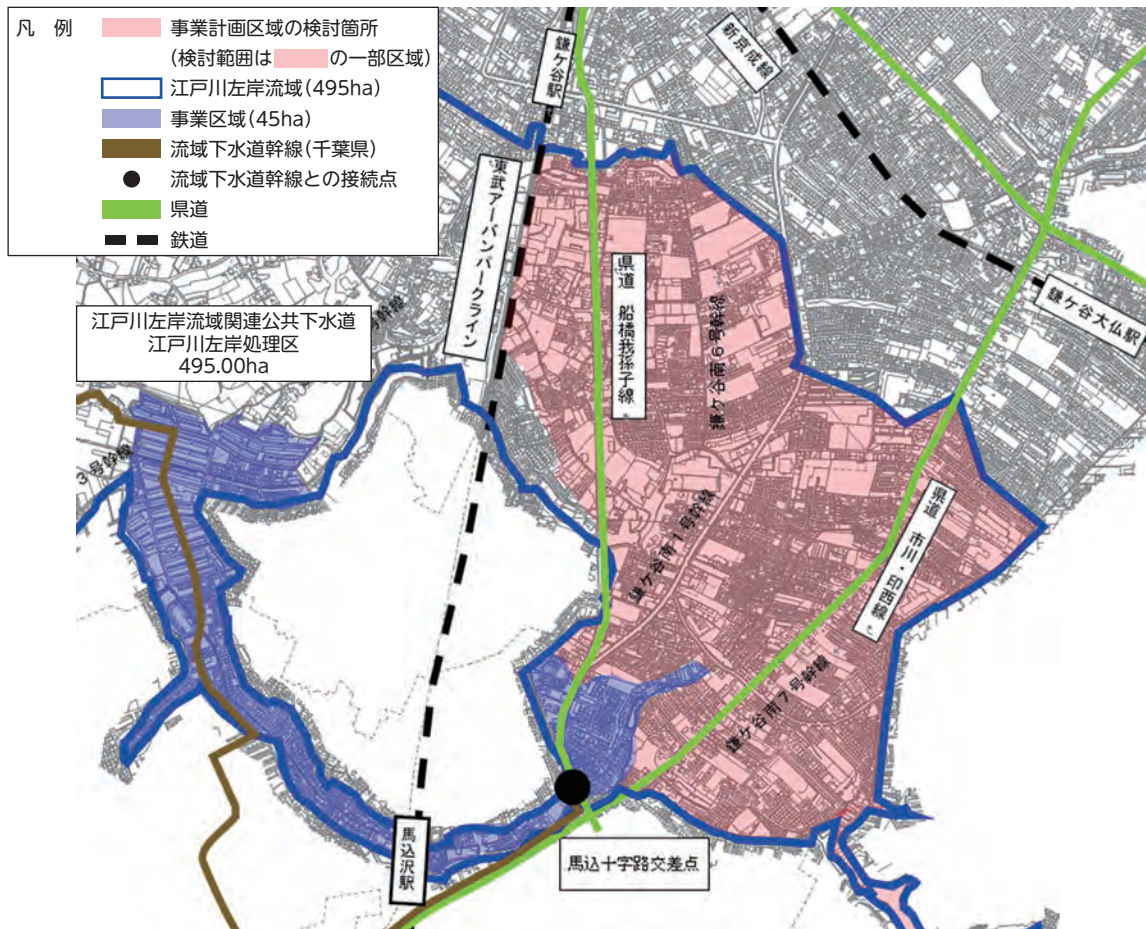
鎌ヶ谷市における公共下水道の江戸川左岸流域は、右図のとおり市街化調整区域を含めた青色の太線で囲まれた区域(495ha)です。これまでに、千葉県による流域下水道幹線や下流の終末処理場の整備が完了したため、市では平成25年4月に事業を開始し、市街化区域(319ha)のうち、下図の青色の部分(45ha)の事業計画を定め、現在、西道野辺、道野辺、馬込沢及び東道野辺地区の一部の区域で整備が進められています(下図参照)。

令和3年度末の面整備率は、約42.0%(18.9ha)で、計画的に整備を進めることができる道路の約70%で下水道管の埋設が完了しています。



## ●今後の区域を広げる検討範囲や時期

公共下水道の計画的な整備促進を図るため、千葉県が整備した馬込十字路口交差点付近の流域下水道管を最下流とし、下図のピンク色の部分の中で、どの範囲まで事業計画区域の拡大が可能か、検討が進められます。なお、市の公共下水道は、上位計画である千葉県流域下水道計画との整合を図りながら進める必要があるため、事業計画区域を広げる範囲や変更時期などは、千葉県との協議を経て実施されます。



**勝又まさる** —プロフィール—

議会所属委員会

●教育福祉常任委員会 委員 ●議会運営委員会 委員 ●鎌ヶ谷市監査委員